

令和6年度 第4回 都田小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年3月1日（金） 13時00分から15時15分まで
- 2 開催場所 都田小学校会議室
- 3 出席委員 森上 茂美、小林 宗吉、波多野 千津子、山下 英治
鈴木 智江、影山 善久、内山 眸
- 4 欠席委員 木宮 敬信、桐生 大輔
- 5 学 校 松下 欣美（校長）、井島 健蔵（教頭）、杉浦 ひとみ（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 ひとみ
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、森上委員が推挙され全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和6年度の学校運営基本方針について
- (2) 学校いじめ基本方針について
- (3) 学校運営協議会自己評価について
- (4) 行事の見直しについて

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から来年度の都田小学校の経営構想について説明があった。
全員意義なくこれを承認した。

(2) 学校いじめ基本方針について

議長の指示により、教頭から「いじめ防止基本方針」の変更箇所について説明があった。
委員からは、以下の発言があった。（質問に対する学校の回答は→で示す。）

- ・ SNSでのいじめは小学校でもあるのか。（小林委員）
→中学生は、SNSによるトラブルがある。小学校も、インターネットゲーム等を通じてのやり取りがあり、いじめにつながる場合がある。保護者の方にも周知する必要がある。
- ・ いじめの早期発見のためには、定期アンケートを増やすことよりも、個人面談のほうが良いのではないか。アンケート内容も常時変えていく必要があるのではないか。（影山委員）
→定期アンケートと共に個人面談も行う予定である。
- ・ いじめは見えにくい。一度いじめがあるとそれを修復していくには時間がかかる。教師が、子供たちとの触れ合う時間が必要。（鈴木委員）
- ・ いじめの問題は潜在化して見えにくい。大きな学校だけでなく小規模の学校にもある

ことをしっかり理解し、保護者とともに連携していじめに対応してほしい。(波多野委員)

- ・いじめについて親が気軽に学校に相談できるようにするための取り組みが必要ではないか。(内山委員)
- ・特定の人にいじめられている場合と、複数からいじめられている場合には、どのような違いがあるのか。アンケートや面談を取り入れても、子供によっては周りに心配させないように黙っているケースがあるのではないか。(山下委員)
→複数の場合の方が、分かりやすいとは思う。気付きにくい点があるので、子供の様子を注意深くみていきたい。相談しやすい雰囲気を作っていきたい。

(3) 学校運営協議会自己評価について

＜評価項目1＞学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長からの説明で良く理解できた。特に、キャリア教育の必要性については納得できた。(小林委員)

＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・子供たちの授業を参観し、学校運営の方針に沿った授業の取り組みが行われていることが分かった。(波多野委員)
- ・都田小学校は地域学習が充実していることが良い。(鈴木委員)

＜評価項目3＞協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・情報発信について地域や自治会で話す機会がない。(鈴木委員)
- ・情報発信は計画を立てないと個人では難しいのではないか。来年度以降、何ができるのか、具体的にどうやって進めていけばよいか話し合う必要がある。(鈴木委員)

→評価項目3の情報発信については、学校側としてCS（コミュニティスクール）だよりや学校ブログなどでの発信を次回に向けて拡充していきたい。

＜評価項目4＞今年度の取り組みを踏まえた来年度の目標

- ・コミュニティ・スクールは学校側が立てた取り組みに対して、参加委員はアドバイザリー的な立場となっている。もっと情報発信ができるようにしていきたい。(鈴木委員)
- ・協議会に今まで4回参加しているが、私たちはどのように参加していくことが望ましいのか今一度考える必要がある。(波多野委員)

(4) 行事の見直しについて

議長の指示により、校長から天白山登山、持久走記録会について説明があった。

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

12 その他報告事項等

教頭より、夢育やらまいか事業に関して来年度は工事などで実施を継続することは難しいとの説明があった。放歌踊りに関しては来年度も継続していきたいとの説明があり、また放歌踊りに尽力してくださっている山下委員から、都田の伝承に関する資料を拝見する機会があった。